

システム・アルファ 顧客へのシステム提案時に **Acronis Cyber Protect Cloud**を 標準採用、安定的で高品質な バックアップ取得を実現

Acronis Cyber Protect Cloudで、
確実なバックアップシステムの運用が可能になり、
ストックビジネスの収益拡大に貢献しています。

事業の概要

システム・アルファ株式会社（以下、システム・アルファ）は1981年創業の群馬県前橋市に本社を置くICT事業とドコモ事業を営む企業です。ICT事業は関東甲信越地方を中心に企業の基幹業務システム開発導入運用サービス、情報インフラ構築、ソフトウェア受託開発などを展開、現在は東京支社を拠点に、富士通系を中心に協業会社との結び付きを強め、都内でのビジネス拡大に力を注いでいます。

システムインテグレーションビジネスを担うソリューション事業本部では、2019年秋にストックビジネスを拡充するためのワーキンググループを結成しました。そして、ビジネス系やクラウドストレージ、バックアップサービスなど幅広く製品を取り上げ、自社サービスの開発も含めてストックビジネスの展開について議論しました。その中で、既存顧客の課題として浮かび上がってきたのがバックアップの問題でした。

ビジネス上の課題

システム・アルファの主要顧客である地場の中小企業では、予算が限られるため、バックアップが軽視される傾向があり、十分なバックアップの仕組みが確立されないまま運用されているケースが多くありました。その状態でもシステムに問題が起きなければ、そのままリプレイスまで運用されますが、ハードウェアやサーバーなどの障害が起きることがあります。またバックアップの取得が正常に行われているかどうかの管理も不十分だという問題もありました。「バックアップの取得状況の確認は顧客の責任範囲ですが、私たちは顧客のインフラのサポートを行っているため、バックアップの状況も把握しておく必要があります」とソリューション事業本部 第1ソリューション部 リーダー 福田 拓也氏は語ります。

従来、システム・アルファでは顧客のサーバーでバックアップが失敗した時にはアラートメールで送られる仕組みにしていました。しかし、ユーザー数が多くなる中で、その管理が大きな負担になるようになっていました。「ほとんどの顧客にITの専任担当者はいないため、問題が起きた時には私たちに依頼が来て、対応しなければなりません。そのため、対応を迅速に行えるように、管理業務を簡素化できるバックアップ製品を探して、アラート管理を

業種・業態

システムインテグレーター

主な課題

- 分かりにくく、見落とす可能性があるアラート管理の改善
- 顧客ITシステムでのバックアップ取得失敗の解消
- スtockビジネスに寄与するバックアップサービスの獲得

主な要件

- サブスクリプション型で確実にバックアップが取得できること

ITインフラ

- オンプレミス環境

主なメリット

- 安定的なバックアップ取得を実現
- 見やすい管理画面による容易なアラート管理を実現
- 最小の営業工数での利益確保によるストックビジネスへの貢献



きちんと行おうということになりました」とソリューション事業本部 第3ソリューション部 マネージャー 金井 俊史氏は説明します。

ソリューション

そこでシステム・アルファではアラート管理を確実に実行でき、ストックビジネスとしても大きな力を発揮する可能性を持つサービスの選定に入り、最終的にアクロニスのAcronis Cyber Protect Cloudを選びました。以前、アクロニス製品の導入経験があり、操作性がよく、バックアップ速度も速かったことから、複数の製品を比較検討した結果、Acronis Cyber Protect Cloudを採用することにしました。「アラート管理もAcronis Cyber Protect Cloudであれば、Webで管理画面を見ることができるようになり、すべてのユーザーの状況が一目でわかるので、とても管理しやすくなると考えました」(金井氏)

2020年3月、システム・アルファはアクロニスと代理店契約を締結、それ以降、システム更改時にAcronis Cyber Protect Cloudのバックアップサービスを提案する取り組みを進めてきました。担当営業が顧客への提案に標準バックアップ仕様として含むかたちで商談を行いますが、ランニングコストが上昇すると顧客に受け入れられないのではないかと懸念も杞憂に終わり、スムーズに採用が進んでいます。提案にあたっては、強くアピールし過ぎずに、システム更新後の運用費用の中にきちんと入れておくことが大切です。「今まではサーバーの隣に機器を置いてバックアップを取っていたのをクラウドに移すことで、より安全になりますと話すことで、納得してもらうことができています」(福田氏)。

システム全体をSaaSやIaaSに移行するという提案はハードルが高くなってしまいますが、クラウドへのバックアップは事業

継続の観点からも意味があると評価して、採用する企業も出てきています。また税理士や司法書士、弁護士など士業の個人事務所、データを守るために、導入するケースもあります。

効果と展望

2021年10月段階で、システムを更改した企業10数社でAcronis Cyber Protect Cloudによるバックアップの運用が始まっています。そこでは導入以来、バックアップの失敗はなく、非常に信頼性の高いバックアップシステムの運用が実現しています。「営業の観点から見ると、営業に関わる工数が非常に少なく利益をえることができ、顧客にとってもメリットがあります。現在扱っているストックビジネスのサービスの中で最も優れていると評価しています」(福田氏)。

また、管理業務の負荷が劇的に減ったことも大きなメリットです。バックアップの失敗がないので、担当者の不安も解消され、ストレスもなくなりました。加えて、管理画面が非常に分かりやすいので、保守サービス部門で稼働中のAcronis Cyber Protect Cloudを容易に管理することができます。さらに顧客からファイルサーバーのファイルを間違っ

て削除してしまったり、上書きしてしまったので、復旧させて欲しいという依頼が入ることもあります。「先日

も復旧依頼が入ったのですが、出先であるにもかかわらず、インターネット環境さえあれば管理画面から簡単に操作可能なので、すぐに対応することができました」(金井氏)。

システム・アルファでは今後、ソリューション事業本部の営業担当へのさらなる周知と技術面のノウハウの習得を進め、バックアップ以外のサービスの採用も検討し、Acronis Cyber Protect Cloudの拡販を図っていきます。また現在はサーバーのバックアップが中心ですが、PCへの導入も含め、顧客に積極的に推奨していく計画です。

「Acronis Cyber Protect Cloudは高品質でファイルの圧縮率も高いので大いに期待しています」

システム・アルファ
ソリューション事業本部
第1ソリューション部
リーダー
福田 拓也 氏

「バックアップ機能以外にも、セキュリティなど様々な機能が追加されてきているので、必要な技術を吸収して、顧客をサポートしていきます」

システム・アルファ
ソリューション事業本部
第3ソリューション部
マネージャー
金井 俊史 氏